

広州アジア大会ラグビー「金」

# 「ディフェンス強化 結実」

## 磐田市長に喜び報生口

11月に開催された広州アジア大会の7人制ラグビー男子で、金メダルを獲得した日本代表監督・村田互さん(42)とヤマハ発動機スポーツ振興財団、磐田市スポーツアドバイザーが14日、同市役所を訪れ、渡部修市長と懇談した。村田さんは「アジア大会で頂点に立ち続けることが、五輪でのメダル獲得につながる」と優勝の喜びを語った。



前回大会覇者の日本代表は予選から順調に勝ち進み、決勝は香港と対戦。試合途中で選手1人がけがになったピンチをしのぎ、28-21で逆転を成した。

日本代表監督に就任し、3年目の村田さんは「トップリーグの選手を集め、ディフェンスの強化に取り組んできた成果が実を結んだと思う」と大会を振り返った。

7人制ラグビーは、2016年のリオデジャネイロ五輪で競技として採用される。村田さんは「五輪ではメダルを目指したい。6年間を振り返るとはたかさんあるの

7人制男子・村田監督

金メダルを渡部市長(右)に披露する村田さん  
— 磐田市役所